

新利根公民館だより

令和6年5月号



集い

学び

結ぶ

編集・発行 新利根公民館
稲敷市伊佐津 3239 番地 1
029-892-2000 (代表)

令和6年度第1回 文化協会新利根支部会 開催

4月11日（木）に第1回文化協会新利根支部会を開催いたしました。清家支部長を中心に令和6年度の「稲敷市文化協会 新利根支部発表会」について話し合った結果、今年度も実施することになりました。団体の皆様には発表会への参加は勿論のこと、「地区講座」への協力も頂き、地区の活性化に力を貸していただきたいと考えております。



【昨年の発表会の様子】

新利根支部
文化協会紹介

《4月現在》

①劇団たからばこ



②にこにこ巻き
寿司向上委員会



③新利根棋友会



④寺崎茶道教室



⑤表千家茶道教室



⑥寺崎華道教室



⑦池田華道教室



⑧民謡クラブ



⑨紅太鼓



⑩クウレイ・プヒ



⑪あざみフォーク
ダンス



⑫コールすみれ



⑬いなしき
カラオケセミナー



⑭箏の会



⑮カラオケ睦会



⑯陶ゆう会



⑰新利根絵画クラブ



⑱楽しい水墨画
同好会



⑲いこい絵手紙
同好会



* 5月から新たに1団体増える予定です。



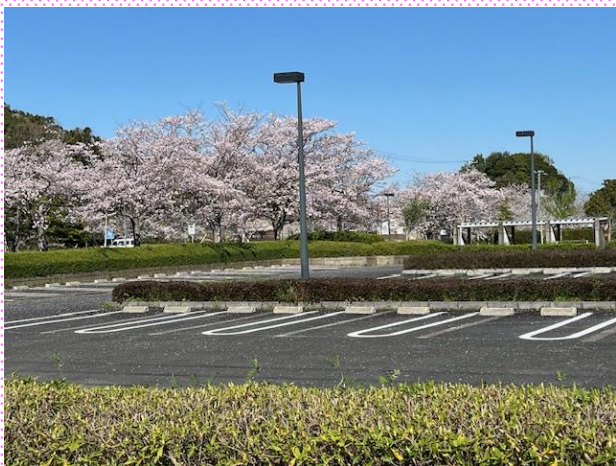
令和6年度前期公民館講座募集を締め切りました。沢山の御応募有難うございました。地区講座もその都度ご案内いたしますので、是非ご参加ください。

裏に続く



🌸 今年も立派に咲きました 🌸

当初の予定では「開花が早まる！」との予報でしたが、やっと満開に咲きました。



《4月10日撮影》

🌸 ビニールシートも雅な空間になる桜言葉

花時／桜狩／花筵

花が咲く頃を「花時（はなとき）」と言いますが、特に桜が咲く頃をさし、人々は花時になると「桜狩（さくらがり）」に出かけて和歌を詠んだりしていました。この桜狩が行楽としてくれた表現になったものが「花見」で桜の下に「花筵（はなむしろ）」を敷き、食事しながら桜を見物する今のスタイルになったそうです。

🌸 花びらを風流に見たてた桜言葉

花盛り／零れ桜／桜吹雪／花筏／花の浮き橋／桜影／桜陰

満開の桜は「花盛り」、満開になって散る桜を「零れ桜（こぼれざくら）」、花びらが舞い散るさまは「桜吹雪」、水面に散った花びらが吹き寄せられて流れていく様子を「花筏（はないかだ）」と言います。筏流しに似ていますよね。また、水面に散った花びらが敷き詰められた様子を浮き橋に見立てて「花の浮き橋」と表現します。それから、水辺の桜が水面に映る様子を「桜影」といい、桜の木の陰を表す「桜陰」と分けて使います。



今年の八十八夜は「5月1日」

昔から立春を基準として様々な決まり事や節目があります。八十八夜とは立春から88日目という意味です。毎年5月2日頃にあたり、2024年の八十八夜は5月1日です。

八十八夜は季節の移り変わりの目安となる「雑節」のひとつ。「節分」「彼岸」「入梅」「土用」なども雑節のひとつで、人々の暮らしと密接に関係し、農作業などの目安とされてきました。

八十八夜は茶摘みを行う目安でもあったため、毎年季節の話題になっています。実際の茶摘みの時期は産地によって違いますが、餅（かすり）にたすきがけの茶摘み衣装を着て茶摘みをする様子は、季節の風物詩。昔から、八十八夜に摘んだお茶を飲むと長生きするといわれています。



ご利用される方はご注意ください！

新利根公民館前のバスは、土日祝のみ、
1日2本の運行となっております。
平日は運行されませんのでご注意
下さい。



5月の納税

○軽自動車税 全期 納期限 5月31日

